

～体育/プール学習(水あそび)～

教科・場面

体育
プール学習

授業・実践のねらい

- ・一斉指導を通して、楽しい雰囲気を感じながら活動に取り組む。
- ・水に慣れたり、親しんだりすることで楽しさを感じる。
- ・浮力や水温など、水の特性を感じる。

対象の児童・生徒

小学部 全児童
※医療的ケア児については、支援者の判断で部分参加や活動内容の軽減などの工夫を行う。

教材・教具

- ・個人に適した浮き具など

工夫したところ

- ・水への恐怖心や抵抗感を軽減するため、支援者との距離を縮めた状態からはじめた。少しずつ個人に適した距離を保てるよう段階を設けた。
- ・浮力や抵抗を感じることをメインに医療的ケア児も参加できるような内容を試みた。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

①水の流れを感じよう！

- ・シャワーを終えた児童からプールに入っていく。
- ・全員が入ってからプール内をグルグル回るように指示する。
- ・はじめは歩く→スピードアップ！！
- ・身体が浮くように（浮力を感じるように）介助する。
- ・反対回りで同じ活動を繰り返す。

②先生と一緒に楽しもう！

- ・一方の壁から向かい側への活動
- ・向かい合わせの抱っこ介助
- ・抱っこ介助で軽くジャンプしながら進む。（児童の顔が進行方向にむくように）往復
- ・1・2・3！のリズムをしながら「3」で高くジャンプさせる。水しぶきが顔にかかるぐらい 往復
- ・「3」のタイミングで水中に！ 水を飲んでしまう児童は教師が頭の上から水をかけてあげる。往復
- ・スーパーマンのような姿勢（といっても姿勢は自由）で教師が思いっきり引っ張って（押して）スピード感を味わう。往復

授業・実践を通じた児童生徒の変容

一斉に指導を受けて同じ活動をするのが少ないので、スイミングスクールのような雰囲気も感じながら楽しく水の特性を味わうことができると考えた。プールが好きな児童はもちろん、抵抗感のある児童も集団で取り組むことで心理的負担が軽減されたように感じる。